

水稲「^{あわ ゆき}淡雪こまち」

秋田県農業試験場

1 この品種を開発した目的

中山間地域も含め地域に根ざした特産的な品種として活用することにより、地域の活性化とこれらの加工を通じた地場産業の振興に貢献できる品種をめざしました。

2 品種の特性・用途・セールスポイント

- ① うるち米ともち米の中間の性質(低アミロース)を持ち、粘りの強いご飯が炊けます。おこわやおにぎりに適します。
- ② 収穫時期が「あきたこまち」より早く、中山間地でも栽培できます。
- ③ 直播き栽培でも発芽が良好です。
- ④ 炊くときの水加減は、普通の米より1割減らします。



3 育成経過

「奥羽343号」を母、「秋田51号」(後の「でわひかり」)を父として、1993年に交配を行い、その後代より選抜しました。



写真提供:鹿角市農林課

★この品種に関する問い合わせ先★

秋田県農業試験場 電話 018-881-3312